

○○議会 ○○議長 様

令和 年 月 日

請願者
住所
電話
紹介議員

OTC類似薬の公的医療保険外しを中止するよう求める請願

請願趣旨

政府は「骨太の方針2025」などにおいて「OTC類似薬の保険給付の在り方の見直し」を検討しています。OTC医薬品とは、薬局・ドラッグストアなどで扱われる処方せん無しの市販薬品です。その市販薬と同様の効能を持つ医療用医薬品の中で一定の条件を満たしたものが、OTC類似薬として認められています。

OTC類似薬を公的医療保険から外し市販薬とすることは様々な弊害をもたらします。口実とされている「現役世代の公的保険料負担の軽減」どころか、大幅な負担増となります。薬の患者負担が何十倍にも増えることになります。生活保護受給者（医療扶助）、指定難病者をはじめ国の公費負担医療制度などでも助成対象外となり、命に関わる事態ともなりかねません。子ども医療費助成制度でも対象外となると、子育て支援に逆行するばかりの多大な負担増になります。また、受診なしで早期発見の遅れや、自己判断の乱用で症状を悪化させるなどの健康被害のリスクが増えることも明らかです。未成年を中心に広がる乱用拡大も懸念されます。このことについては、日本医師会、保険医療団体連合会、老人クラブ連合や難病団体もなども反対や懸念を表明しています。

生活と命と健康を守るため、診断・検査・投薬を一体で保障する公的医療保険制度の運用を堅持すべきであり、OTC類似薬の公的保険外しは中止するよう求めます。

つきましては、地方自治法第99条の規定により意見書の提出を請願いたします。

請願項目

1. OTC類似薬を公的医療保険から外し市販薬とする負担増や、「医療扶助」「指定難病者」「子ども医療費助成」などの支援制度をゆがめ患者負担を増すことをやめること。
2. 受診なく薬物を自己判断の使用により症状を悪化させるなどの健康へのリスクが増やすおそれや、薬物の乱用拡大も懸念されるため、OTC類似薬の公的保険外しを中止すること。

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣 総務大臣
内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍）